

平成31年度(令和元年度) 会計管理室の運営方針

部(局)	会計管理室	会計管理者	小林 由幸
------	-------	-------	-------

【基本姿勢】

会計管理者は、予算を執行する機関に対して、内部けん制する権限が与えており、また、会計管理室は、会計管理者の補助機関として、公金の収入・支出及び保管、支出負担行為の確認、決算の調整など会計管理者の権限に属する会計事務を担当しています。
 そのため、会計事務の執行に当たっては、法令等に基づき、予算執行が適正に行われているかを厳正に審査し、適正かつ迅速な会計事務の執行と公金の適正管理に努めてまいります。

【重点課題】

1	政策目標	(5)	健全な行財政と市民主体のまち	施策目標	(2)市政運営、行財政運営
	適正かつ迅速な会計事務の執行				
2	政策目標	(5)	健全な行財政と市民主体のまち	施策目標	(2)市政運営、行財政運営
	公金の適正管理及び運用				
3	政策目標	(5)	健全な行財政と市民主体のまち	施策目標	(2)市政運営、行財政運営
	指定金融機関等の検査の実施				

【重点課題1】

適正かつ迅速な会計事務の執行

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

公金の収入・支出が法令等に基づき、適正に執行されるよう厳正な審査を行うことで、さらなる信頼性の高い市政の確立を目指します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

①	支出命令書の作成等を法令等に基づき審査し、適正かつ迅速な支払い事務を行います。
②	審査の結果、書類不備等がある場合、各課の担当者に対して助言・指導を行うことで、適正な会計事務を行います。

イ 達成目標

①	審査事例の検証を行うことで、会計管理室の職員の審査能力の向上を図り、より一層適正かつ迅速な会計事務を行います。
---	---

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	内容(事業名、予算等)	所管室・課
ア	会計管理室事務費	会計管理室

【重点課題2】

公金の適正管理及び運用

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

公金の管理及び運用においては、確実かつ有利な方法により管理し、効率的な資金運用を行います。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 歳計現金において、収支見込を把握して資金が不足しないように確保し、余裕資金が生じた際には、定期預金での運用を行います。

② 特定の目的のために積み立てている基金については、確実かつ効率的に運用します。

イ 達成目標

① 公金の運用については、金融機関での運用を基本に、利率照会による競争原理の活用により、確実かつ効率的な運用に努めます。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	内容(事業名、予算等)	所管室・課
ア	会計管理室事務費	会計管理室

【重点課題3】

指定金融機関等の検査の実施

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

指定金融機関等に対して、公金の収納や支払い等の事務が適正に処理されているかを確認します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 指定金融機関及び指定代理金融機関において、公金収納の関係帳票等の検査を行います。

② 収納代理金融機関については、会計管理室への検査書類の提出により検査を行います。

イ 達成目標

① 金融機関に対して、検査を実施することにより、公金収納事務等の適正化が図れます。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	内容(事業名、予算等)	所管室・課
ア	指定金融機関等に対し、公金の取扱いについての検査を実施	会計管理室